

## 第3回 研究大会フィールドワーク

「大久保で多文化・多様性のまちを体感する

-外国につながる人びとの識字・基礎教育保障について考えるために-

基礎教育保障学会第3回研究大会では、多文化・多様性のまちとして知られている

東京都新宿区の大久保でフィールドワークを企画しました。

大久保の特色は、このまちで学び、働き、生活する外国人の多様性にあります。国籍・出身地はもとより、言語・文化・宗教・職業・世帯属性等も一括りでは語れません。いまや住民の4割が外国人という環境のなかで、保育園・小学校・中学校では、さまざまな文化的背景をもつ子どもたちが共に遊び学んでいます。

次々と新たな国や地域から、夢を抱いて流入する人びと。そのエネルギーが渦巻くなかで、大久保は多くの課題を抱えています。外国につながる人びとへの日本語指導や学習支援もそのひとつです。一方、これら多くの課題に向き合うために、地元の人、大久保に根を下ろした外国人、支援団体、行政などが、その解決策について模索しています。

今回のフィールドワークの目的は、多文化・多様性のまちを体感することです。このまち歩きを通して、地域社会の豊かさと課題を実感し、識字・基礎教育保障の重要性について考えたいと思います。

■ 日時 2018年9月1日（土）13:00～16:30

■ 内容 13:00 受付（会場：しんじゆく多文化共生プラザ）

13:30 しんじゆく多文化共生プラザ出発

大久保地域をフィールドワーク

15:00 大久保地域センター到着

15:15 フィールドワーク振り返り（講師からの説明、意見交換等）

16:30 終了

魅力あふれる講師陣で

大久保のまちを案内します!

3グループに分かれて

散策スタート!

■ 集合場所 **しんじゆく多文化共生プラザ**

(JR新宿駅東口から徒歩10分 西武新宿駅から徒歩5分)

■ 参加費 1,000円 (当日集めます)

■ 申込方法 (Eメールで申し込みます)



7月31日(火)までに、件名を「フィールドワーク申込」とし、①名前、②所属、③連絡先

(携帯電話番号等)を記入のうえ、[taikai@jasbel.org](mailto:taikai@jasbel.org) までEメールで送信してください。

\* 定員は40名です。申込先着順で、定員に達し次第、募集を締め切ります。

＜講師紹介＞

山本重幸氏 (大久保を拠点として活動する市民グループ 共住懇代表)

稲葉佳子氏 (法政大学大学院デザイン工学研究科兼任講師)

阪口毅氏 (立教大学コミュニティ福祉学部 助教)

フィールドワーク参加者・懇親会のお知らせ

日時：9月1日(土) フィールドワーク終了後 17時より

会場：タイ居酒屋トントイ新宿店 (03-6273-0799)

新宿三丁目駅から徒歩5分

新宿御苑前駅から徒歩358m

会費：3,000円

情報交換しましょう!

